

## 「ジャパンビバレッジ環境・社会報告書 2021」

### 第三者意見

ジャーナリスト・環境カウンセラー

さきた ゆうこ  
**崎田裕子**

1974年、立教大学社会学部卒業。出版社で11年間雑誌編集者を務めた後、フリージャーナリストに。生活者・地域の視点で環境問題、特に「持続可能な循環型社会づくり」を中心テーマに取組む。早稲田大学招聘研究員。環境省登録の環境カウンセラーとして、環境学習やまちづくりにも関わる。NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット前理事長、NPO法人新宿環境活動ネット代表理事。環境省「中央環境審議会」、経済産業省「総合資源エネルギー調査会」委員、東京2020大会組織委員会「街づくり・持続可能性委員会」委員など。全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会会長。



飲料を販売する事業者の責任として、自動販売機の横に設置したリサイクルボックスで空容器を回収し、自前で再資源化する会社があることを知ったのは、2003年に取組みがスタートして間もない頃でした。志の高い企業があることに感動した事を覚えています。

今では、全国のグループ企業の缶・ビン・ペットボトルの再資源化量の約4分の1を「リサイクル・プラザ」Bで自社処理しているとのこと。素晴らしい取組みです。

今回初めて環境・社会報告書を読ませていただきましたが、トップメッセージで「新型コロナウイルス感染症からのリカバリーは持続可能なより良い社会の再構築を目指す」と、SDGsを踏まえ環境・社会・経済面の一層の強化を明言しておられます。特にSDGsの中で目標8（成長と雇用）、12（持続可能な生産と消費）、13（気候変動）、14（海洋資源）を重視し、海洋プラスチック問題に真正面から取組む姿勢を評価したいと考えます。

私は国の「プラスチック資源循環戦略」策定に参画しましたが、2019年に「3R+再生可能な資源利用」を実現するマイルストーンとして「2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制」「2025年までにリユース・リサイクル可能なデザインに」「2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル」「2035年までに使用済みプラスチックを100%リユース・リサイクル等により、有効活用」を明記しました。

### 環境・社会報告書 第三者意見を受けて

「ジャパンビバレッジ環境・社会報告書2021」に対し貴重なご意見を賜り誠にありがとうございます。また飲料を販売する事業者として取組みを継続してきました自社工場を活用した飲料空容器の資源循環に対してご評価をいただいたこと、重ねて御礼申し上げます。

弊社は多くのエネルギーや資源を利用し事業活動を行っております。事業の根幹である自動販売機は電力を使い、商品は容器包装のペットボトルなどで化石由来原料を使用しております。そのような中、昨年SDGsの取組みに対し2030年目標を設定しました。これは現在の取組みを深化させることを目的としていますが、ご意見のとおり更なるサステナブルな企業活動が求め

御社もプラスチックの革新的取組みを進める企業として、回収・選別・圧縮した使用済みペットボトルを、世界初のフレックから再成型するダイレクトリサイクル技術を活用して飲料用ペットボトルにしておられます。天然資源削減だけでなく、従来のBtoBリサイクルよりCO2を25%削減するなど、常に挑戦する姿勢に敬意を表します。

なお、販売量に対する再資源化比率も記載し、取組の先進性を強調してはいかがでしょうか。

また、熱中症対策や新しい生活習慣として、ボトルを持ち歩く人も増えています。マイボトルへ給水するドリンクサーバーなど、多様な選択肢の展開も期待しています。

自動販売機は、気候変動対策として省エネルギーが求められていますが、2020年には消費電力量は2005年比で50.4%削減、そしてCO2排出量は2015年比で21.8%削減し、2030年度目標を達成。着実な成果ですが、2050年に向けてはどのように事業全体の脱炭素を目指すのか、再生可能エネルギーの活用を含めて、戦略を立てることを願っています。

また、全国の支店で防災や地域イベント参加、清掃活動など社会的活動も広げてますが、SDGs目標17パートナーシップを高く掲げて、教育機関や環境学習施設などとの連携を密にして、海洋プラスチック対策としての分別・リサイクル徹底など、地域社会を巻き込む啓発活動などに積極的に取組んでいただくことを期待します。

られる現在の社会的な要請を考慮すると、事業活動の脱炭素化へ向けた戦略の策定が必要不可欠であるため、今後取組みへの反映に努めてまいります。また海洋プラスチック対策については多くの方のご理解と協力が得られるよう、これまでも増した情報開示と「伝える」活動を進めてまいります。

私達は、これからもお客様をはじめとするステークホルダーの皆様のお声に耳を傾けながら、生命の輝きに満ちた社会の実現に向けて取組みを進めてまいります。

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー  
 環境部長 加藤豊孝